

広島県北広島町における巣箱設置によるブッポウソウ保護の試み

上野 吉雄¹⁾・前田 芙紗¹⁾・浄謙 彰文¹⁾・暮町 昌保¹⁾・中島 康弘¹⁾・松田 賢¹⁾・
近藤 紘史¹⁾・河野 弥生¹⁾・白川 勝信²⁾・原 竜也³⁾

¹⁾ 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会・²⁾ 北広島町立 芸北 高原の自然館・³⁾ 一般財団法人広島県環境保健協会

Conservation of Oriental Dollarbird *Eurystomus orientalis* by the Installation of Nest Box on the Kitahiroshima-cho, Hiroshima Prefecture.

Yoshio UENO, Fusa MAEDA, Shobun JOKEN, Masayasu KUREMACHI, Yasuhiro NAKAJIMA, Satoshi MATSUDA,
Koji KONDO, Yayoi KONO, Katsunobu SHIRAKAWA and Tatsuya HARA

報告

ブッポウソウ *Eurystomus orientalis* はアジア東部の温帯から熱帯にかけて、南はニューギニア、オーストラリアまで広く分布し、日本には夏鳥として本州、四国、九州に渡来し、繁殖する（日本鳥学会 2012）。国内での分布はきわめて局地的で、環境省により絶滅危惧 IB 類に選定されている（中村 2014）。

中国地方では、広島県により絶滅危惧 II 類に（井原 2012）、山口県により絶滅危惧 IA 類に（立野 2019）、島根県により絶滅危惧 I 類に（佐藤 2014）、鳥取県により絶滅危惧 I 類に（土居 2012）、岡山県により絶滅危惧 I 類に（丸山・山田 2009）選定されている。

中国地方では、1980 年代まで、主に木製電柱に開けられた穴を利用して繁殖していたが、その後のコンクリート製電柱への立て替えにより、繁殖つがい数の減少が指摘されている（飯田 1992；日本野鳥の会岡山県支部 1992）。近年、巣箱設置の取り組みにより、岡山県、広島県、鳥取県を中心に繁殖個体数の回復がみられ、2017 年は広島県では 421 つがい、岡山県では 354 つがい、鳥取県では 55 つがい、島根県では 37 つがい、山口県では 11 つがいになっている（日本野鳥の会中四国ブロック大会 2018）。認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会ではこれらのことを踏まえて 2010 年より北広島町の芸北地域において巣箱を設置し、ブッポウソウの保護を試みている。

今回、10 年間の取り組みの成果を確認することができた。合わせて豊平地域、大朝地域におけるブッポウソウの繁殖状況についても報告する。

巣箱は 2010 年に奥原地区、草安地区、才乙地区、川小田地区に 7 個、2011 年に空上地区、橋山地区、吉見坂地区に 10 個、2012 年に苜屋形地区、南門原地区、板村地区に 10 個、2013 年に大仙原地区、奥中地区に 10 個、2014 年に長沢地区、細見地区に 10 個、2015 年に細見地区、小原地区に 10 個、コンクリート製電柱に架設した。

2015 年 5 月から 7 月にかけて巣箱を巡回し、繁殖を調査した結果を図 1 に示す。54 か所の巣箱のうち、30 か所の巣箱で繁殖を確認した。芸北地域における 1991 年から 1995 年の調査によると、3 か所のみで繁殖が確認されている（上野ほか 1996）。この 20 年間で繁殖つがい数が 10 倍に増加している。

2019 年 7 月に町内全域の巣箱を巡回し、繁殖を調査した結果を図 2 に示す。72 か所の巣箱で繁殖を確認した。そのうち、芸北地域で 64 つがい、大朝地域で 6 つがい、豊平地域で 2 つがいの繁殖を確認した。

以上のように順調に繁殖つがい数が増加しているが、豊平地域、大朝地域、千代田地域などへの巣箱の設置数が少なく、今後はこれらの地区への巣箱設置を予定している。

本事業を実施するにあたり、コンクリート製電柱への巣箱架設を快く許可していただいた NTT 西日本株式会社

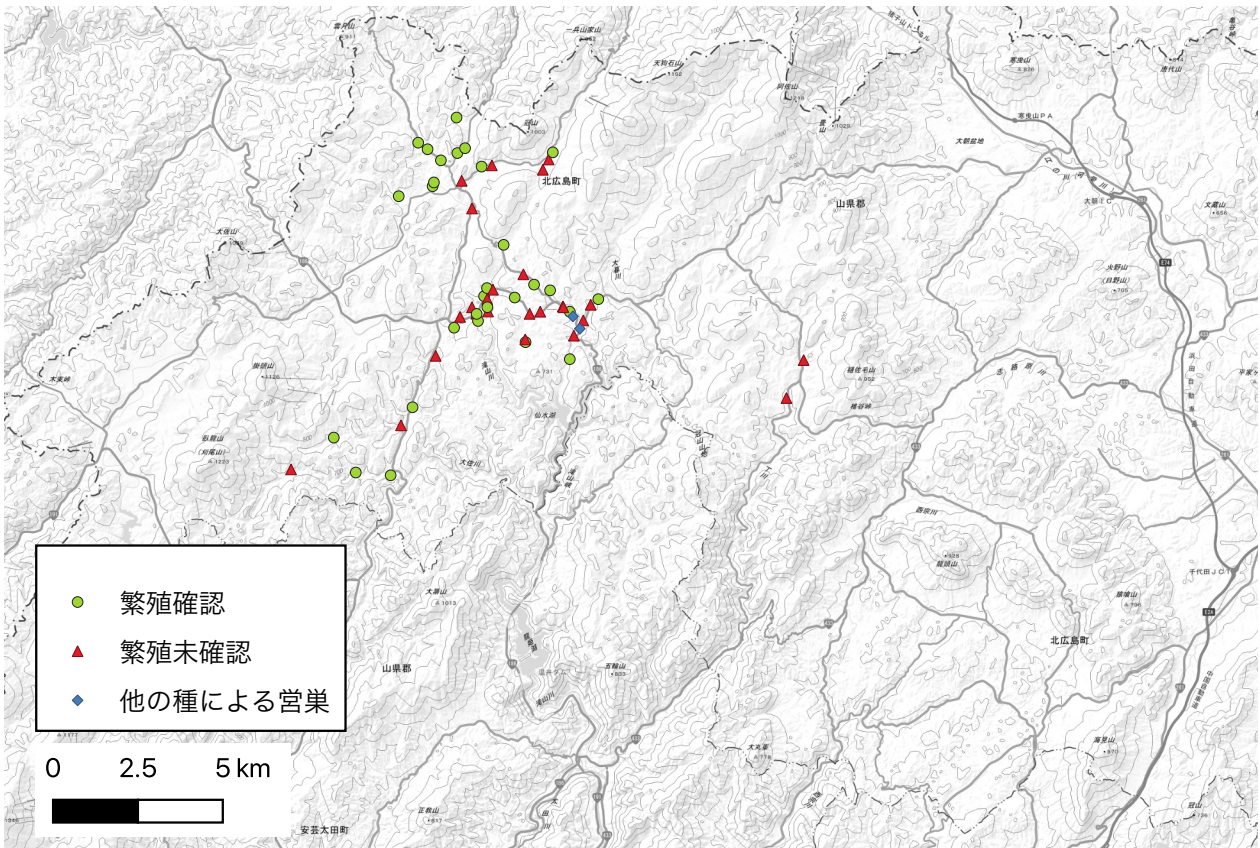


図1 2015年の北広島町におけるブッポウソウの繁殖状況

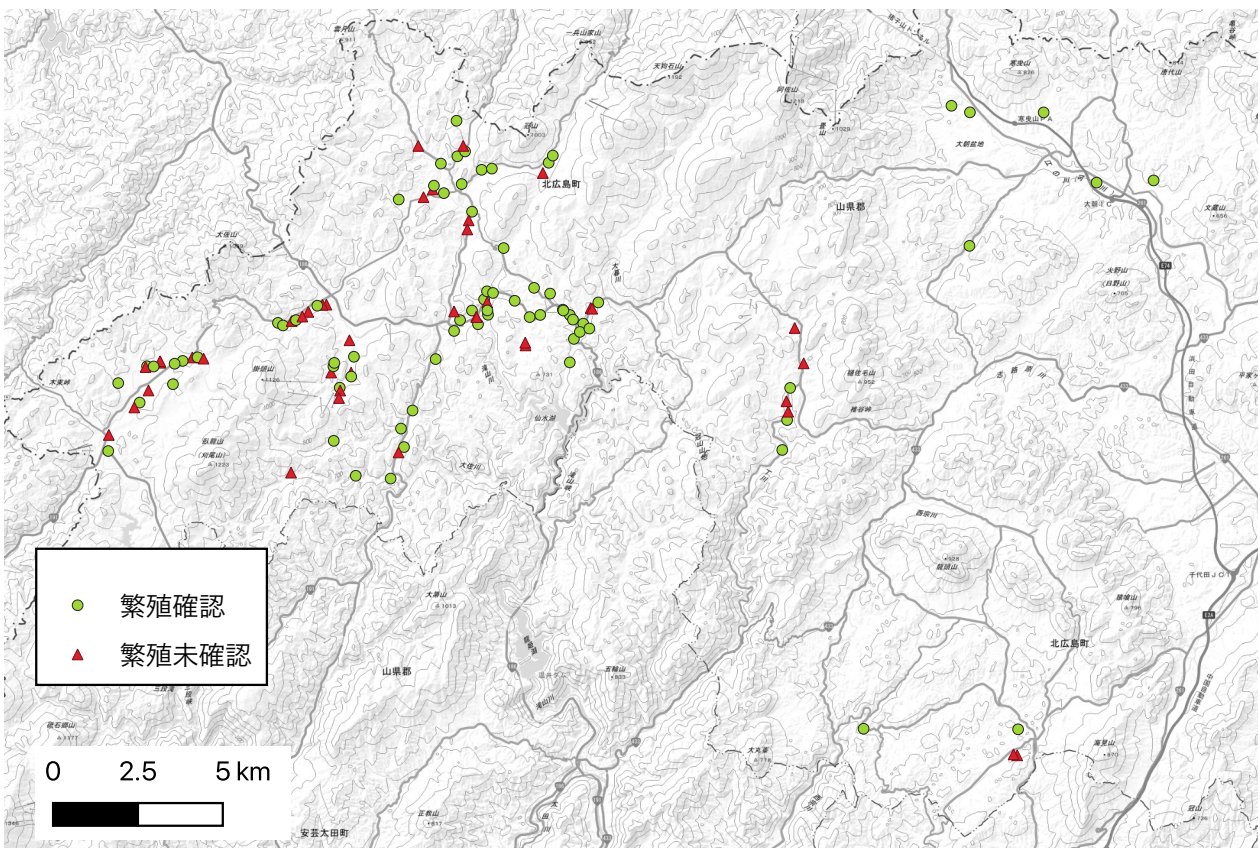


図2 2019年の北広島町におけるブッポウソウの繁殖状況

の皆様、巣箱作りや巣箱架け、耕作地内への巣箱の架設を快く許可していただいた芸北地域の皆様。また、情報を提供していただいた豊平地域の若本啓二氏、前田 要氏、大朝地域の宮庄秀雄氏、加藤正文氏、加藤恵子氏、平田義孝氏、角甲正行氏、須貝美佳氏、千代田地域の宮本良朗氏の皆様に厚くお礼申しあげます。

引用文献

- 土居 克夫 (2012) ブッポウソウ. (鳥取県 編) レッドデータブックとっとり改訂版—鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物—, 54. 鳥取県生活環境部公園自然課, 鳥取
- 井原 庸 (2012) ブッポウソウ. (広島県 編) 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第3版) —レッドデータブックひろしま 2011—, 72. 広島県, 広島
- 飯田 知彦 (1992) 電柱を営巣場所にするブッポウソウ *Eurystomus orientalis* の繁殖分布. *Strix* 11: 99-108
- 丸山 健司・山田信光 (2009) ブッポウソウ. (岡山県 編) 岡山県版レッドデータブック—絶滅のおそれのある野生生物—, 81. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山
- 中村 浩志 (2014) ブッポウソウ. (環境省 編) レッドデータブック 2014 —日本の絶滅のおそれのある野生生物— 2 鳥類, 114-115. ぎょうせい, 東京
- 日本鳥学会 (2012) 日本鳥類目録 改訂第7版. 日本鳥学会, 三田
- 日本野鳥の会岡山県支部 (1992) 岡山県におけるブッポウソウの生息状況調査報告書. 日本野鳥の会岡山県支部, 岡山
- 日本野鳥の会中四国ブロック大会 (2018) 中国四国各県のブッポウソウつがい数 (2017)
- 佐藤 仁志 (2014) ブッポウソウ. (島根県 編) 改訂・しまねレッドデータブック 2014 動物編—島根県の絶滅のおそれのある野生動物—, 42. しまね自然と環境財団, 大田
- 立野 昌宏 (2019) ブッポウソウ. (山口県 編) レッドデータブックやまぐち 2019 —山口県の絶滅のおそれのある野生生物—, 77. 山口県環境生活部自然保護課, 山口
- 上野 吉雄・保井 浩・山本 裕 (1996) 広島県芸北町の鳥類. 高原の自然史, 1: 291-393



A : 巣箱設置場所の環境	2019年7月11日	大朝地域
B : 巣箱設置場所の環境	2019年7月30日	大朝地域
C : 巣箱を利用するブッポウソウ	2019年5月15日	芸北地域
D : 4羽のブッポウソウ	2019年6月26日	芸北地域
E : 巣内ビナ	2019年7月21日	芸北地域
F : ヒナへの標識	2019年7月21日	芸北地域